

担当者	山口和宣（学び・学生支援機構）
題目	生き抜く力養成講座 -どこでも強く生きる力-
学期	2025 Q4 （12月3日、12月10日、12月17日、12月24日、1月7日、1月21日、1月28日、2月4日）
授業形式	対面とZoom、オンデマンドの併用
科目の概要	
<p>現代社会において、どの道に進んでも成果を出すことの出来る、生き抜く力を身につける。</p> <p>例えば成果主義が強い外資系企業において、また経営者など過酷な環境においても、ゼロからでも経験と学び、折れない心(レジリエンス)を通じて、人生を切り拓く力を身につける。</p> <p>更に異文化の違いを理解し、多様性を大切に、心根である徳を持つ理想的な人材として「世界を視野に地域から始めよう」を育み、世界を視野に生き抜く力を培う。</p>	
学習目標	
<p>本講座では、全体をとおして次のような知識・スキルの習得を目指す。</p> <p>何故生きるのか、何の為に生きるのかを深く理解している。</p> <p>性善説と性悪説の両方の考え方を知り、海外の人の考え方、日本との違いを考察できる。</p> <p>折れない心(レジリエンス)について、その元となる徳育による「利他的」な自分という軸を持つことができる。</p>	
授業計画	
<p>1(12/3). 導入編「生き抜く」とは</p> <p>2(12/10). 命-どこから来てどこへ行く? -先祖を知り、命の大切さを知る-</p> <p>3(12/17). どこでも生きていける人になる -文系からの外資系製薬業界、働きながら学び過酷な環境を生きる-</p> <p>4(12/24). 多様性の大切さ-多様性を持つ人、組織は生き残る-</p> <p>5(1/7). 理念と志の大切さ -何のために生きる?何のために仕事をする?-</p> <p>6(1/21). 異文化理解と外国語 -語学を学ぶ前にやることがある-</p> <p>7(1/28). 海外に比べて日本は何故遅いのか? -スピード感を持つ方法-</p> <p>8(2/4). 徳を持った大人として -道徳や倫理で社会を変える人になる-</p>	
主な対象者	社会人、大学生、高校生、中学生（できれば親子で受講）。
テキスト	なし
参考書・資料	阿野似 益也「命の黙示録」、エリン・メイヤー「異文化理解力」、守屋 洋「右手に「論語」左手に「韓非子」：現代をバランスよく生き抜くための方法」
キーワード	異文化理解、徳育、生き抜く力、キャリア形成、実践的な学び、折れない心
備考	